あけぼのおと　NO,6

あけぼのーと第６弾では０歳児たんぽぽ組からは音遊びの取り組みをお知らせします。入園したばかりの頃は、保育士が歌を歌ったり体操の音楽に合わせて踊る姿をじーっと見ていた子ども達。次第に保育士と一緒に身体を動かしたり、音の鳴るおもちゃを持ってきて振ったり、お友達とわらべ歌を楽しむなど音に触れて楽しむ姿が増えていきました。子ども達が音に触れ、楽しんでいる様子をお知らせします。

楽器遊び

入園した頃は、音の鳴るおもちゃを自由に動かし音が鳴る事を楽しんでいた子ども達。次第に保育士が歌うと音の鳴るおもちゃを持ってきて音を鳴らす姿に変わってきました。また、自由におもちゃを振っていた様子から保育士が縦に振ると縦に、横に振ると横にと音の鳴らし方にも変化が見れれるようになりました。

体操・リトミック

体操する保育士の事をじーっと見ていた姿から、膝を曲げる等小さな動きを真似するようになり、今ではジャンプやグルグル回ったりと体を大きく動かしながら楽しんでいます。『さんぽ』など子ども達が大好きな曲に合わせてストップゲームも楽しみました。最初は走り続けていた子ども達も、曲が止まると「ぴた！」と言い止まれるようになってきました。

わらべ歌

保育士と一緒に、体に触れる『ぞうきん』、手を繋いで行う『なべなべそこぬけ』、子ども達が乗った布を揺らす『ぶらんこ』を楽しんでいました。次第にお友達と手を繋いで『なべなべそこぬけ』をしたり、お人形をお布団に乗せ『ぶらんこ』をする姿が見られるようになりました。わらべ歌を通してお友達と遊ぶ楽しさを感じていた子ども達です。

歌、手遊び

毎日ペープサートに合わせて歌を歌っていました。初めは保育士の歌やペープサートをじっと見ていましたが、語尾を真似たり動きを真似たりするようになってきました。遊びの中でも手遊びをする姿も見られましたよ。